



住所登録・変更

住所変更・改姓などをされる場合は、校友会HPの住所変更依頼フォームにご入力の上送信してください。FAXや郵便での依頼も受け付けております。

Facebook

校友会の情報発信や大学の最新情報のほか、大学・校友に関するメディア出演のお知らせをアップしています。

卒業生投稿コーナー NEW

ご自身の近況をはじめ、勤務するお店や会社の情報、同窓会企画など、様々なことを投稿できるシステムです(事前登録制)。

出欠管理システム

各支部の同窓会をはじめ、学部・ゼミ・クラブ同窓会など、各種催しの参加申し込みにご利用いただけます。

追手門学院大学 卒業アルバムサイト

2018年度(第50期 学部・第45期 大学院)卒業生から卒業アルバムはデジタル版での配布となりました。
<https://album.otemon.ac.jp/>

追手門学院メールマガジン

オール追手門の最新情報をお伝えしていきます。



追手門学院大学 校友会会報



※撮影時のみマスクを外しています

LINE公式アカウントははじめました！皆さまぜひ登録してください！

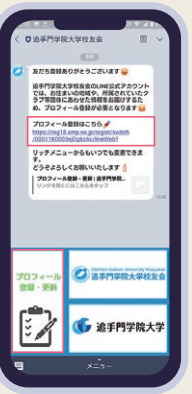


STEP 1

友だちを追加

下のバーコードを使用もしくは、「友だち追加」画面でLINE IDを検索して、校友会のLINEアカウントを友だち追加してください。

@otemon



STEP 2

友だち登録完了

友だち登録が完了すると、校友会LINEからメッセージが届きます。メッセージ内にある「プロフィール登録はこちら」のURLや、下部のボタンからプロフィールの登録が可能です。



STEP 3

プロフィール登録・更新

校友会LINEへの権限を許可して、プロフィール情報を入力・登録してください。プロフィールは後から変更・更新することも可能です。



所属されていた部活や団体、お住まいの地域に合わせた情報が配信されますので、ぜひプロフィールをご登録ください！

近況求む!! 皆さまのご活躍されている様子を教えてください!

追手門学院大学の卒業生の多くが日本各地でご活躍されている中、校友会が把握できているのはその一部でしかありません。卒業後お引越された方、起業された方、その他どんなことでも構いません。ぜひ皆さまの近況を下記連絡先までお知らせください。

※ご連絡いただける際は名前・学部学科・卒業年も併せてお教えいただけますようお願いいたします。
※お送りいただいた個人情報は法令に基づいて厳重に管理し、卒業生が関係する事業以外には使用いたしません。

追手門学院大学校友会 事務局

Tel. 06-6943-8400
E-mail. ogu.koyukai@otemon.ac.jp



編集後記

コロナに振り回されながらも、徐々に世の中が動き出しました。校友会イベントも開催され、社会では卒業生・在学生がさまざまな舞台上で活躍しています。少しでも母校のことを知っていただきたく、皆さまのご協力のもと本誌を作成いたしましたので、お楽しみください。
[大泉 宏祐(50期生 国ア)]

次号の『校友会会報96号』は、2022年9月頃発刊予定です

校友会50周年記念事業のご紹介

ホームカミング・デー開催報告

追手門学院大学学園祭 OIDAI FESTIVAL 2021

LinkA Vol.6 ~社会で活躍する卒業生~

校友会結成50周年 記念事業

KOYUKAI
50th Anniversary Project

2021年5月に結成50周年を迎えた追手門学院大学校友会は、この3年間にさまざまな記念事業を実施。とりわけ今年度は3回に渡り母校へ感謝の意を込めた寄贈を行いました。3月には安威キャンパスに「榊」を、4月には総持寺キャンパスに「センペルセコイヤ」の木を植えました。また、10月には絹谷幸太氏作の結成記念モニュメントの除幕式を総持寺キャンパスにて実施。この記念すべき節目を機に今後も校友会は母校とともに歩みつづけます。

センペル
セコイヤ植樹
(2021年4月)



日経新聞に
名刺広告掲載
(2021年3月)



安威キャンパスには榊の木を寄贈 (2021年3月)

会長×学長対談
日経新聞掲載
(2021年3月)



名刺広告
協力者交流会
(2021年11月)



結成記念
モニュメント
除幕式
(2021年10月)



1階メインゲート前と5階スカイガーデンの2カ所に絹谷幸太氏制作のモニュメントが設置されています

校友会会報
縮刷版発行
(2020年2月)

校友会会報

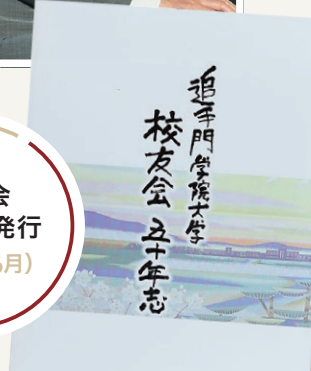
追手門学院大学 校友会

2019年、スタートしたばかりの茨木総持寺キャンパスで開催された対談は、400名超の来場者を集め、大変盛り上がりしました。

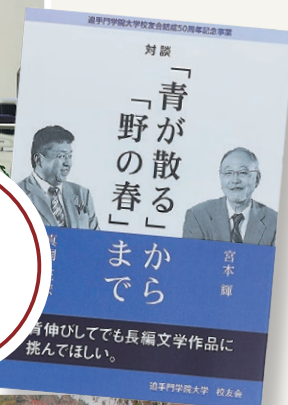


宮本輝氏×
真銅正宏氏
対談
(2019年6月)

校友会
50年志 発行
(2021年6月)



対談冊子
発行
(2020年3月)



初代学長
墓参会
(2020年12月)



結成50周年記念式典・祝賀会

校友会は、1971年(昭和46年)5月30日(日)に結成し、2021年(令和3年)5月30日(日)に結成50周年を迎え、半世紀を歩んできた同窓会組織です。50年を振り返り、改めまして再認識をしていただく絶好の機会と捉えていますので、皆さまご家族の方もお待ちしております。ぜひご参加ください。

開催日時 2022年5月28日(土)
[時間]12:00~15:30

開催場所 リーガロイヤルホテル大阪
「光琳の間」

定員 先着300名
※円卓4名まで(予定)

着席方式
完全予約制

参加費 大人3,000円 小・中・高・大学生1,000円
乳幼児無料(申込みは必要)

第1部 記念式典
[12:00~13:20]

[ピックアップ企画]
彫刻家・記念モニュメント作成者の
絹谷幸太氏による記念講演

第2部 祝賀会
[13:30~15:30]

[ピックアップ企画]
円 広志氏(7期生 経営)のミニコンサート
円 広志氏 × ヤナギブソン氏(20期生 文社)対談



● お申し込み方法

同封のお申し込みはがきに必要事項をご記入の上、以下までご郵送ください。

宛先 〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20
追手門学院大学 校友会事務局

お申し込み期限 2022年3月31日(木)まで(先着順)

● お問い合わせ先

追手門学院大学 校友会事務局

06-6943-8400

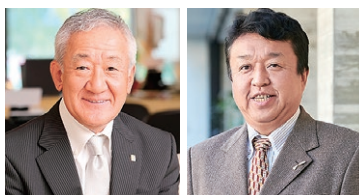
※新型コロナウイルスの状況によりましては、中止となる場合がございます。あらかじめご了承ください。その場合にはホームページやLINEにてお知らせします。



藤尾会長・真銅学長挨拶

藤尾会長は、コロナ禍で校友会結成50周年という節目に記念式典・祝賀会を開催できなかったことに触れ、中でも校友会50年史の発行と記念植樹および記念モニュメントを設置できたことに言及。今後はコロナと付き合いながら校友会活動を進め、来年5月には皆さまとともに結成50周年を祝いたいと締めくくりました。

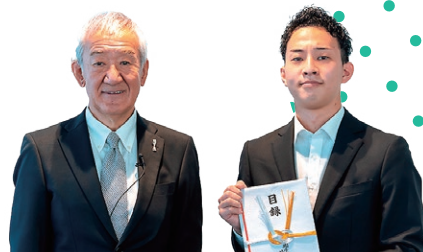
真銅学長は大学の現況を報告。大規模なクラスターを出すことなく学修や大学生生活の継続ができたことは、「感染対策に多くの支援をいただいた校友会のお陰」と、感謝の言葉を述べられました。さらに、進行中である教学改革や学生たちの活躍についてなど、母校の躍進ぶりを伝えてくださいました。



藤尾 政弘会長 真銅 正宏学長

支援金贈呈式

大学校友会の藤尾政弘会長から学園祭実行委員長の岡田大来さんへ学園祭支援金を授与。校友会の想いを受け取り、実行委員一丸となって準備した学園祭は10月31日(日)に開催されました。



You Tubeで
配信動画を
公開中!



ホームカミング・デー ONLINE [2021年10月31日(日)] 開催報告

2021年のホームカミング・デーは10月31日(日)、約2時間にわたり総持寺キャンパス5階に設けた基地局から、オンライン生配信で開催。「支援金の贈呈式」、「安威・総持寺キャンパスの記念植樹の紹介」、彫刻家・絹谷幸太氏が手掛けた「記念モニュメント披露式」、現役生からの校友会に向けてのコメント、「茨木市散策」や一年延期となった「50周年記念式典」告知などのコンテンツを発信しました。今後も校友会の発展のための施策を検討・実施して参りますが、まずは皆さまが各支部で「つながって」、その行動が「ひろがって」、校友会自体が「もりあがって」いくものと考えております。今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

各支部活動報告

支部活動は各支部が工夫を凝らし、活発に展開されています。懐かしい仲間はもちろん、現役学生との交流を深めるチャンス!



絹谷幸太氏 インタビュー

校友会結成50周年記念モニュメントの制作者である彫刻家・絹谷幸太氏に、ホームカミングデーのナビゲーター2人がインタビューを行いました。絹谷氏からはどのような想いで制作したのか、学生に伝えたい言葉などさまざまなお話が伺えました。



彫刻家
絹谷 幸太氏

昔の写真を頼りに思い出の場所をめぐる!

茨木ぶらり散策 Stroll around Ibaraki

思い出の場所が今どうなっているのか? 昔の写真を頼りに、校友会メンバー5人が阪急茨木市駅、JR摂津富田駅と安威キャンパスを散策しました。

散策
開始!

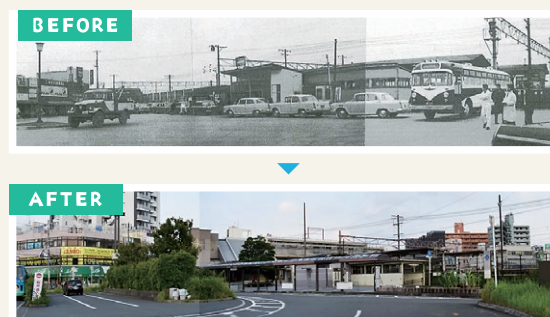
1 阪急 茨木駅前

阪急茨木市駅のロータリー。後ろに写っている2人は見回り役の先生。おそらく混雑具合から入試時の写真と思われます。



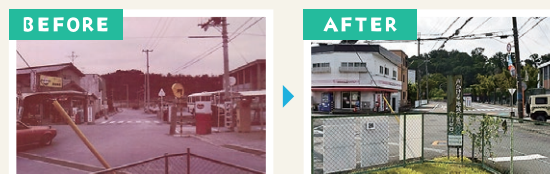
2 JR 摂津富田駅前 (国鉄 富田駅前)

昭和46年4月 大阪万国博覧会終了のあと、茨木駅に快速が止まるようになりバスの利用が減りました。



3 安威キャンパス 正門前

左側に写るのは懐かしの「サイダ商店」。試験の際には皆さん御用達だったはず! 現在の店舗は改装され新しくなっています。



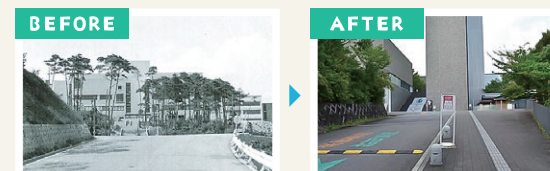
懐かしさあり、新たな発見ありで
充実した散策になりました!



私たち
が
散策
しまし
た!

4 安威キャンパスだらだら坂

だらだら坂。実は正式名称ではなく、宮本輝氏作の小説「青が散る」にてそう書かれていたため呼ばれるようになりました。



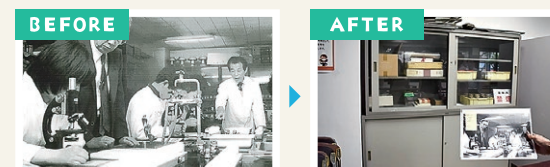
5 安威キャンパス 大階段前

左は旧1号館、開学時の階段。右は現6号館と中央間との間にある階段。昔は更地になっており、駐車スペースとして使用されていました。



6 安威キャンパス1号館 生物実験室

写真に写っているのは、八木沼先生と西川先生。現在は改装を行っており、実験用具が唯一の名残。



7 安威キャンパス1号館 学生会館

学生会館 喫茶室。喫茶→ナカニシ書店→紀伊國屋書店と変わっています。



散策
終了!



フォトモザイクアート

追大生、中高生、地域住民の方々から集めた写真でフォトモザイクアートを制作！使用枚数6400枚、5m×5mの大迫力のアートが完成しました。

今年の学園祭はオンラインをメインとして、感染対策を徹底した一部対面形式の、ハイブリッド型！

2021年10月31日(日)、追手門学院大学学園祭「OIDAI FESTIVAL 2021 —BREAK THE SKY LIMIT—」が開催されました。ステージでは数々のパフォーマンスが繰り広げられたほか、新企画のコンテストや、地域の方にもご参加いただき制作した巨大フォトモザイクアートなど、盛りだくさんの一日となりました。

当日の見どころをまとめたダイジェスト動画もYouTubeにアップされていますので、ぜひご視聴ください。



当日のダイジェスト動画はこちら！

視聴URL <https://youtu.be/Usf9kK76O90>



実施コンテンツ

学生団体パフォーマンス

学内オーディションを通過した団体がパフォーマンスを披露！華やかな姿を見せてくれました。

投票で決定！動画コンテスト！

日常動画や特技自慢動画、おもしろ動画などさまざまなジャンルの動画を配信！事前に行われた視聴者投票の結果をYouTubeライブで発表しました。

松井 愛莉さんトークショー

モデル、女優として活躍中の松井愛莉さんのトークイベントが開催！追大生限定、有観客に加え、webex eventsを利用した配信も。

オンライン展示会

追手門学院大学のクラブ、サークル、ゼミの活動を動画や写真で発表しました！

コロナに負けない!! プロモーション動画

「アフターコロナ」をテーマに追手門が1つになった動画をYouTubeライブ配信にて放送しました！

芸人登場!お笑いライブ

スマイルなど、有名なお笑い芸人の方々をお招きしライブを開催！その模様はYouTubeでも配信されました！

まいどおおきに屋台

追大生がデザインした、食堂メニューの看板を発売！普段利用する食堂メニューがオンライン上に発信されました。

地域を応援!! 地域ロードマップ

茨木・総持寺周辺のお店を紹介！嬉しい特典情報も♪

大成功でした！

活躍する在学生

クラブ・サークルなど、各分野で頑張りをみせる追大生が本誌に近況報告を寄稿してくれました。コロナ禍で活動が一部制限される中、さまざまな取り組みを行い、活躍の幅を広げています。

少林寺拳法部

「第55回少林寺拳法全日本学生大会」で「組演武男子茶帯の部」優勝。

2021年11月に開催された「第55回少林寺拳法全日本学生大会」の結果報告です。「男子茶帯の部 優勝(高橋・経営3/岸本・心理2)」「女子単独有段者の部 3位(梶田・国際教養3)」「女子初段の部 3位(藤原・地域創造4/郡山・経営2)」「女子二段の部 4位(上木・社会3/今村・経営3)」「女子三段以上の部 4位(岡田・国際教養2/森澤・社会1)」「団体演武 男子4位・女子3位」でした

(合掌)。少林寺拳法部は今年で創立53年。これまで受け継がれてきた伝統を大切に、時代に合わせて進化してきました。現在、コロナ禍の影響で練習環境に制限はありますが、そのような状況下でも練習ができることに感謝し、日常が当たり前ではないことを再認識しております。今後も同輩と切磋琢磨し、監督・コーチ・先輩方の恩恵を忘れずに日々精進して参ります(結手)。



応援団チアリーダー部

茨木市民に「勇気・元気・笑顔」を届けるイベントを開催。

2021年11月、チアリーダー部主催イベント「チアリーディング&チアダンスフェスティバル〜茨木を笑顔あふれる街へ〜」を開催。ご来場いただいた皆さま、本当にありがとうございました。コロナ禍による入場制限もありましたが、当日は約150名もの方々にお越しいただきました。初めて「令和3年度いばらき・学生等連携事業補助対象事業」に採択され、右も左も分からない状態からのスタートで

した。無観客開催や中止の可能性もある中、27もの演目を踊ることができました。大勢の方々の前で踊れたことは本当に楽しく、幸せな時間でした。このような貴重な経験ができたのは、採択してくださった茨木市、告知を掲載してくださった校友会、いろんな形でご支援くださった皆さまのおかげです。来年度以降も可能な限り、笑顔届けられるステージを創り上げていきたいと思っています。



女子ラグビー部

コロナ禍で練習制限も、6年ぶりに7人制女子の全国大会優勝を果たす。

現在もコロナ禍による練習制限が続いています。追手門学院高校との合同練習は中止のまま。2時間という限られた練習時間の中、目標に向かって切磋琢磨してきました。その結果、2021年7月に開催されたラグビー7人制女子の全国大会「第8回大学女子交流大会」(埼玉・熊谷)で、6年ぶりの優勝を果たしました！私たちの強みである粘り強いディフェンスを発揮できた大会でした。予選

のプール戦は2連勝で1位通過。決勝トーナメントでは優勝経験のある強豪校との対戦も、勝ち切ることができました。大会前の様子はInstagramにアップしています。「追手門学院女子ラグビー部」で検索してみてください。もちろん、普段の風景もご覧になれます。これからも、「追手門を元気に」をモットーに頑張っていきます。Seize the day!(その日をつかめ!)



「校友会結成50周年記念第一回交流会」を開催
今後、第二回、第三回も開催予定

2021年11月14日(日)ホテルモントレ大阪にて、「校友会結成50周年記念第一回交流会」を開催。コロナ禍の中、実施が危ぶまれましたが、終息傾向でもあり無事開催しました。3月17日(水)の日経新聞全国版の朝刊1面に藤尾会長と真銅学長との対談記事を校友会が掲載した際、別面に名刺広告を出された方々と校友会交流誌[LinkA]に載られた方から参加者を募り、当日は東京や山口など全国の卒業1期から若い51期の方々約60名が参集。学院からは理事長をはじめ学長、大学・学院関係者にお越しいただきました。参加卒業生は多業種にわたり、経済界を支える上場企業の代表や女優、文学、文化、芸術、教育、行政および法曹界にて活躍されているリーダーの方々でした。

卒業生を広くサポートすることが校友会の使命の一つと考え、お互いの交流を深めるとともに、私たちが直面する社会問題や雇用・労働問題に関心を持っていただくことで、いわゆるSDGsや環境問題への提言を発信していくべきだと考えています。そのためにも知恵袋である母校追大との連携

が必要、と企画させていただきました。

藤尾会長の開催の挨拶で始まり、川原理事長より総持寺キャンパス2期工事の現状、真銅学長にはコロナ禍における教育方針など現在追大が関西の私学の中で元気に成長している状況や新学部構想などをお話しいただきました。前田副会長は、校友会が50周年に向けて計画してきた多くの事業や、今後さらに大学との連携を深め、100周年に向けて校友会が歩むべき姿を記念式典で発表していきたいと話されました。

締めの挨拶で生川副会長は、2022年5月28日(土)に延期して開催するリーガロ

イタルホテルでの記念式典には、皆さまにリーダーとして誇りを持って参加いただきたい。また一人ひとりが追大における発信力となる必要なパワーであり、それが卒業生や校友会が周知される大きなチャンスとなる。加えて、校友会のキャッチコピー『つながる・ひろがる・もりあがる』の方針にご理解とご賛同を、と話されました。

今回の第一回交流会にはご都合でやむを得ず欠席された方もおられます。今後第二回、第三回と参加人数も増やして開催していきたいと考えておりますので、ぜひご参加をお願い申し上げます。



総持寺キャンパスに約5000個のキャンドルが点灯
EXPOCITYのオファーにも応える

今年度で12年目を迎える「追大Candle Night」。総勢61名の学生スタッフが新型コロナウイルス感染症拡大防止のための各種ガイドラインを遵守しながら日々活動を行う中、10月にはEXPOCITYから「夜間



に人通りが少なくなるメインゲート側の広場に賑わいを演出したい」というオファーがあり、タイアップイベントを実施。広さ670平方メートルほどの円形広場を会場に、ハロウィンやクリスマスなど秋から冬の季節イベントをテーマにした4つのキャンドルオブジェを展示しました。

11月にはLEDキャンドルを使用した取り組みについて「追大WILプログラム奨励金プロジェクト」に採択され、総持寺キャンパスのWILホールにて「追大Candle Night秋の映え祭り～真昼の月光 Moon Light～」と称したイベントを開催。

また、昨年度はオンラインのみでの開催となった12月のキャンドルナイトイベント

も、今年は総持寺キャンパスにて約5,000個のキャンドルを点灯しオブジェの数も史上最多の規模で無事に開催されました。当日、会場には1,350人が来場し、キャンドルの灯りは多くの人に癒しを届けました。

新型コロナウイルス感染症にも負けず、精力的に活動する追大Candle Nightを会員の皆さまもぜひ温かく見守りください。

**第49回衆院選にて
追大卒業生が議員当選**

2021年10月31日(日)に行われた第49回衆院選で、遠藤良太氏(33期生 営国)が見事当選いたしました。

校友会・追手門学院大学
NEWS & TOPICS
Otemon Gakuin University & Alumni Association News

参加者名簿

	氏名	卒業期(学部)
来賓	川原 俊明	—
	真銅 正宏	—
	上森 啓史	—
	渡辺 圭佑	—
新聞広告	田中 克茂	30期生(営・営)
	一本松 伸	2期生(経・経)
	坂本 正朗	3期生(経・経)
	野原 和広	9期生(経・経)
	渡辺 睦翁	17期生(経・営)
	瀧川 照章	27期生(文・心)
	岩谷 昌洋	33期生(経・経)
	坂口 将人	40期生(営・営)
	桐生 幸之介	6期生(経・営)
	久保 圭子	9期生(文・英)
	林元 光広	21期生(文・心)
	坂井 宏嗣	18期生(経・営)
	佐伯 樹来	50期生(経・経)
	中谷 あゆみ	49期生(社・社)
	西上 雅章	5期生(経・経)
	橋本 良英	4期生(経・経)
	三藤 勝士	40期生(営・マ)

	氏名	卒業期(学部)
新聞広告	大泉 宏祐	50期生(国・ア)
	関谷 昌子	—
	森本 晃平	19期生(経・営)
	前田 寛司	7期生(経・経)
	押川 新一	14期生(文・英)
	村田 隆信	5期生(文・社)
LinkA	藻川 芳彦	8期生(文・社)
	手塚 大輔	24期生(文・心)
	鹿島 市右衛	5期生(経・営)
	西本 敬太	21期生(文・英)
	大槻 育宏	24期生(文・心)
	濱田 英里	46期生(心・心)
	坂本 静泰	16期生(経・営)
	杉本 和夫	15期生(経・営)
	木村 力造	9期生(文・社)
	山下 貴弘	44期生(心・心)
校友会	きたむら いづみ	8期生(文・英)
	早川 勝彦	8期生(経・経)
	藤尾 政弘	8期生(経・経)
	前田 順一	3期生(経・経)
	生川 紳一郎	6期生(経・営)

	氏名	卒業期(学部)
校友会	吉田 浩幸	6期生(文・社)
	官浪 伸次	9期生(経・経)
	玉井 史郎	22期生(経・営)
	畠山 香二	14期生(経・営)
	西川 利治	18期生(文・東)
	松岡 俊彦	9期生(文・心)
	越智 文章	19期生(経・経)
	高本 優一	22期生(経・経)
	福益 栄一	11期生(経・営)
	辻村 健悟	36期生(営・国)
	平野 昌雄	1期生(経・経)
	藤本 英治	5期生(文・社)
事務局	瀬川 浩司	13期生(経・経)
	横山 智哉	51期生(国・国)
	井上 貞彦	1期生(経・経)
	西内 大生	—
	坂倉 斉	—
	野出 靖宏	14期生(経・経)

真銅学長の40回分のメッセージを書籍化
教育最前線の姿がここに

教育・研究の今が見える化し、社会と大学をつなぐ『OIDAIライブラリー』を創刊。その第一弾として、真銅学長が学生にあてたメッセージから教育最前線を振り返る『言伝(ことづて)』が出版されました。

本書はポケットサイズの四六版94ページで、真銅学長が2020年4月8日(水)の最初の緊急事態宣言に際して学生に送ったメッセージから秋学期終了後の2021年2月26日(金)まで40回分を収録。1回分を見開き2ページとし、メッセージの日付に対応した社会の出来事を添えることで、コロナ禍の社会動向の中に大学を位置付けました。

感染拡大に伴って刻々と変化する授業方針に関するメッセージをはじめ、大学が

導入した電子図書館サービスの活用方法、オンライン授業と対面授業の役割と機能などの解説、大学で学ぶことの意味やコロナ禍における人文知の重要性の考察など、学長の思いがよみがえります。



『OIDAIライブラリー』は追大が運営する追手門学院大学出版会のシリーズ書籍で、今後も改革の進む追大の教育・研究を切り口に、読者を学問や学びへと導く書籍を発刊する予定です。

言伝(ことづて)
2020年
学長は学生に何を伝えたいのか
真銅 正宏

新型コロナウイルス(COVID-19)に直面した2020年に追手門学院大学の学長が発信した全40回の軌跡

言伝は、皆さんが言葉の力を感知取る、一つの「実験場」なのです。
追手門学院大学出版会

本書は
Amazon
ほか書店でも
販売中です!

リモート開催の続いた評議委員会もついに対面で実施。 オンラインと組み合わせたハイブリッド開催も。

9月25日(土)K.K.Rホテルにて、リモートと対面で理事会・評議員会が開かれました。コロナ禍以前は大学キャンパスで毎月行われていたのですが、最近は全てリモート開催だったため、久しぶりに評議員の方や新評議員の方ともお会いでき、有意義な会でした。意見のタイミングがわかりやすい、表情が伺えるなど、対面会議ならではの良さを改めて感じました。

12月18日(土)には京橋ホテルモントレで2021年最後の理事会・評議員会、そして



9月25日(土) K.K.Rホテルにて

て座談会も開かれ、委員会同士の意見交換や連携もでき、こちらもやはりオンラインのみでは難しいことも出来て良かったと参加者からも声が上がりました。

まだまだ終息が見えないコロナ禍で、これからの校友会の在り方、委員会の進め方が見えてきた一年となりました。

追大卒業生が働いている芦屋の「たのしや」。 名物の塩おでんは「一食」の価値あり!

寺川明良さん(47期生 経経)が働いている芦屋の居酒屋「たのしや」。名物の「塩おでん」は20年の歳月をかけたこだわり抜かれた出汁で作られており、10万食以上食べられ今も愛され続けています。

「今日も皆さまの笑顔を想像しながら心を込めて作らせていただいております。」と語る寺川さん。芦屋へお越しの際はぜひお立ち寄りください。



12月18日(土) 京橋ホテルモントレにて



故・吉田正先生の思い出を振り返る 先生が残された思いや心を胸に刻んでいく

吉田正先生が2021年5月9日(日)に逝去され、コロナ禍のなか12日に家族葬が営まれました。

吉田先生は蔵内数太先生の関西学院大学での最後の門下生として修士号を得られ、1969年4月追手門学院大学の当時の心理・社会学科におられた蔵内教授の元に助手として着任。その年、私も4期生として入学したのでまさしく同期となりました。

着任早々から読書サークルの立ち上げ、社会学論集の発刊、現地研修バスツアーの実施、社会学科新入生フォロー制度の確立など、様々な形で学生をはじめ、関係者を輪に引き込まれ、学科の充実に取り組んでこられました。そして、ゼミ生はもとより社会学科生に珠玉の言葉をいただいたことは今も心に刻まれています。その根幹には揺るぎないアカデミズムが貫き通されていました。

2000年に拝受した賀状には、「昨年は人生最大のピンチでしたがなんとか切り

抜けることができました」と添え書きがあり、句2首が印刷されていました。自己に厳しくされていた様子がうかがえます。

手ひねりの中皿でこぼこ即席の

惣菜のせて白くかがやく

身ひとつになりて書物に頼らざる

思志一致して私物書捨つる

2006年には、社会学科の学生・卒業生をはじめ支援いただいた教職員の集まりとして、単なる同窓会ではなく、縁あって学窓に会した方々が、学科の発展・繁栄を期する組織、社会学部支援同窓会(ソキウス)の立ち上げにご尽力をいただきました。

2010年に先生が退官されるとのことで、記念講演会を企画、3月に社会学科とソキウスの共催で開催できたことは、先生の演題「ヒトは心を引き継ぐ存在である〜〈安威山の一角に輝く真珠〉のような社会学科を!〜」からご意思を伺う良い機会となり、いまだに語り継がれています。先生の薫陶を受けた一人として、先生が残された思いや心を胸に刻んでいきたいと思ひます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌

社会学部支援同窓会(ソキウス) 会長 道盛 正樹



吉田 正先生 (享年78歳)

追手門学院大学	1969(昭和44)年4月1日	採用助手(文学部)
	1970(昭和45)年10月1日	講師(文学部)
	1978(昭和53)年4月1日	助教授(文学部)
	1988(昭和63)年4月1日	教授(文学部・社会学部)
社会学部長	2006(平成18)年4月1日~2007(平成19)年10月18日	
	2010(平成22)年3月31日	退職
	2010(平成22)年4月1日	名誉教授
剣道部顧問	1973年~2010年	社会学部支援同窓会(ソキウス)名誉顧問

県人会京都レンタルサイクル観光を実施 学生たちと京都の魅力を堪能

「コロナ禍で地方出身の学生が人と関われる環境がない。県人会として関西を楽しんでもらえる企画がしたい!」という学生県人会からの要望を受けて開催。

「感染防止・交通安全」の意識が強く、企画した学生たちの抜け目のない企画案にも驚かされました。サイクリングルートも学生たちの案を土台に協議することができ、細かい配慮の下で開催できました。

参加者名簿

氏名	学部・学年	氏名	学部・学年
太田 裕麻	経営4	小山 禎稀	経3
松本 美羽	国際教養4	西本 百花	経営3
牛尾 日奈多	国際教養3	古田 悠人	心理2
田中 皆聖	経3	島田 咲	地域創造1

学生プロデュースの製品が ふるさと納税の返礼品に



学生プロジェクトチームが、大学の地元茨木市特産の「赤しそ」と、茨木市の姉妹都市である小豆島町のビール醸造家をつないでプロデュースしたクラフトビール「しそとことん」が、茨木市のふるさと納税の返礼品に採用されました。

赤しそを副原料に使用した同製品は、地域連携などに取り組む「成熟社会研究所」の学生研究員らが企画。茨木市特産の赤しそを小豆島にあるビール醸造家のもとに持ち込み、昨年初めて250本の商品化に成功しました。その味わいは好評で、昨年は販売開始から1カ月で完売。今年は量産に向け、赤しそを生産する農家に生産量の調整を依頼するなど準備を進め、昨年の2倍にあたる500本が完成しました。

2022年4月、「国際学部」と「文学部」を開設 グローバルな視点で国際社会と日本を学ぶ

国際教養学部を改組して、「国際学部」(入学定員150名)と「文学部」(入学定員180名)を開設。

「国際学部」では、英語学習を「目的」ではなく「手段」として捉え、様々な場面で活かすことのできる実践力を養成。世界規模の課題を文化・歴史・地理・社会など、多面的に捉える「グローバルスタディーズ専攻」と、国際社会における多文化のありようを自国文化との比較の中で見つめ直す

「国際文化専攻」を設置します。

「文学部」では、考察力と発信力を持ち、日本と世界をつなぐ人材を養成。日本の古典・近現代文学、漫画、アニメ、言語・思想・芸術などを深く学ぶ「日本文学専攻」、地理、文化遺産、仏教美術や戦国時代から江戸期の地方政治などを学ぶ「歴史文化専攻」、日本古来の建築技術・様式美から現代の先進的な建築デザインまで広く学ぶ「美学・建築文化専攻」を設置します。



開催報告&
ご案内!

校友会開催イベント

コロナ禍で休止していた支部のイベントが
感染予防対策に万全を期した上で、
少しずつ再開されています。

支部のつどい開催報告

兵庫支部

コロナ禍での制限もありつつ、
2年ぶりに開催



2021年11月3日(水・祝)、伊丹シ
ティホテルにて兵庫支部のつどいを総
勢42名で開催。総会後は真銅学長の
講演会「宮本輝文学を語る」が実施さ
れ、兵庫県を描いた作品についての解
説を聞きました。懇親会はコロナ禍で
の制限の中でしたが、久しぶりに会員
同士の親交を深められました。今回は
感染対策を講じた上で2年ぶりに開
催。来年度は西宮での開催を検討し
ています。

〔横山 智哉(51期生 国国)〕

和歌山支部

ZOOMを併用しながらの開催
懇親会では楽しい時間を過ごす



総会は4月30日(金)に書面審議と
し、つどいは10月16日(土)に開催し
ました。1・2部は(有)Getwell日本塾にて
「THE COVE」と「Behind THE COVE」
の上映会をし、3部は「Behind THE
COVE」の監督からZOOMにて貴重な
お話をうかがいました。意見交流をし
ながら、様々な視点で社会問題と向き
合うことの大切さに気づきました。懇
親会は「和歌山六三園」で楽しい時間
を過ごしました。

〔飛田 優衣(42期生 営営)〕

四国支部

和歌山、兵庫に続く3カ所目の開催
懇親会も無事に実施



11月20日(土)に四国支部のつどい
をJRホテルクレメント高松において実
施。和歌山支部・兵庫支部に続いての
実施となりました。支部の総会の後
は、心理学部の宮川裕基先生から「自
分と相手を幸せにする思いやりの心の
持ち方とは」についてご講演いただき
ました。講演会終了後は、会員の皆さ
まのご協力のもと、コロナ禍での制限
がある中でも、無事に懇親会も実施で
きました。

〔中川 純(21期生 文社)〕

校友会ハイキングのご案内

校友会結成50周年を記念いたしまして、大学発祥の地であります安威キャンパス周辺と新たな総持寺
キャンパス周辺を散策します。どちらの地も歴史的に興味深い所ですので楽しんでいただけるかと思ひます。
考古学研究会OBの吉田浩幸(6期生 文社)が案内します。皆さまのご参加をお待ちしております。



日時 2022年3月27日(日) 午前9時40分集合 (9時58分のバスに乗車)

集合場所 JR茨木駅 改札口前(時間厳守)

コース ① 阪急バスに乘車「午前9時58分発「追手門学院前」行き(220円)」→ ② 将軍塚古墳 → ③ 将軍山古墳石室移築 → ④ 真龍寺(SL見学) → ⑤ 追手門学院大学内散策(昼食・真龍寺山
古墳・月見山遺跡) → ⑥ 学院創設者 高島頼之助先生 陸軍演習記念碑 → ⑦ 継体天皇陵(茶
臼山古墳) → ⑧ 追手門学院大学総持寺キャンパス散策(ここに解散(15時予定))

歩行距離 約8km

その他 お弁当、飲み物等は各自持参、健康維持等につきましては各自の責任で行ってください。

申込URL https://otemon.org/2022_hiking/

※有志にて打ち上げを阪急茨木市駅近辺にて予定しています。(追大総持寺キャンパス前〜JR総持寺駅〜阪急茨木市駅(近鉄バス220円))
※雨天が予想されます場合は、前日までに連絡します。

お申し込みは
こちらから!



新明石

吉川 航史
(34期生 経国経)

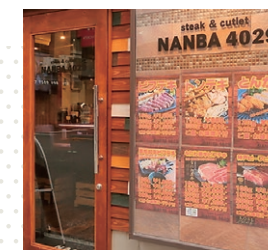


大阪でフグを食すなら!

昭和5年から「とにかくいっぺんおい
なはうまいもんくわそ」を理念に「口
福(フグ)」を提供しております。以来、
「大阪でフグを食すならば新明石」と
大変ありがたい評判とともに、全国(外
国からも)からご来店いただいております。
現在はスッポンに、春にはタイシャ
ブ、夏には鰻やタコと内容を広げ、発
送も承っております。各種会合やお集
りなど、お気軽にご相談くださいませ。



大阪中央区心斎橋筋2-2-13
宝山心斎橋ビル 1F
☎ 06-6211-2523
● [月~土] 15:00~22:00
(L.O.21:00) ※昼はご予約のみ
● 日曜日・祝日 ※ご予約のみ営業



大阪中央区難波4-3-20
☎ 050-5457-1103
● [ランチ] 11:30~15:30
[ディナー] 17:00~23:00
[パーティー] 23:00~29:00
● 年末年始

ステーキ&カツレツ NANBA 4029

上田 高義
(21期生 経営)



同窓会気分に通いたい!

OPEN

Alumni Shops & Foods

卒業生のお店紹介



練り天・おでん 山城

山内 健太
(41期生 営マ)



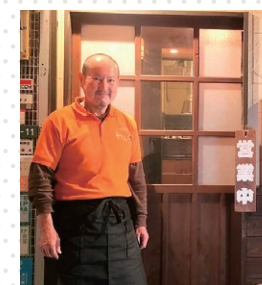
大阪府高槻市芥川町2-9-11
平岡ビル 1F
☎ 072-690-7001
● 17:00~23:00
● 日曜日・祝日

こだわりの練り天とおでん

JR高槻駅西口より徒歩3分。素材と
製法にこだわっており、上質な練り天
や、出汁の旨味が効いたおでんの数々
を無添加・保存料不使用で提供して
いる居酒屋です。自慢の料理に合う旬
を押さえた全国津々浦々の日本酒の
数々を取り揃えています。“魚の美味し
さを心ゆくまで味わってほしい”。そん
な想いを込めた逸品を用意してお待ち
しております。

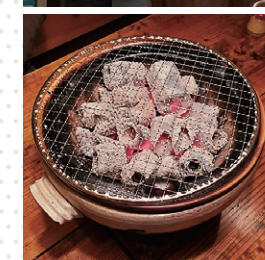
焼肉工房 わらく

木村 和人
(17期生 経営)



水七輪で際立つ肉のうま味

24年間前に脱サラし、大好きだった
焼肉を自分なりの形で提供したいと炭
火で焼いた肉のうま味が水蒸気でより
引き立つ、「水七輪(炭火の下に水を
引いています)」と特性秘伝のたれを
使い、2010年10月にオープン。今年
で11年目となりました。お客さまとの接
点は「調和」礼を尽くすを理念として
います。奈良富雄駅前のお店へひよい
とお立ち寄りください。



奈良県奈良市富雄北1-3-11
☎ 0742-44-2941
● 17:00~23:00(L.O.22:30)
● 第2・3火曜日

LinkA vol.06

社会で活躍する卒業生 Otemon Gakuin University Graduates

東京パラで6位。
悔しいけど、
胸を張れる結果。

Kitama Yui



北間 優衣 さん（48期生 社社）

兵庫県伊丹市出身。2017年社会学部社会学科卒業。勤務先の日本生命では、人事課で新人導入研修などの業務に携わる。中学1年から車いすバスケットボールを始め、国内屈指の強豪チーム「カクテル」で活躍。高校1年で日本代表に選出され、2010年アジアパラ競技大会に出場（優勝）。その後日本代表選手に定着する。追大の卒業研究では、自らの体験に基づき、社会学の視点からユニバーサルデザインに関する卒業論文を作成した。



東京2020パラリンピック競技大会・車いすバスケットボール女子代表選手として活躍した北間さん。全試合でスターターを務め、主力として献身的な守備でチームを支えました。開幕から予選2連勝。早々に準々決勝進出を決めるも、そこからは苦戦続き。6位という結果について、「銅メダルを目指していたので悔しい気持ちはあります。それでも、3大会ぶりの出場が6位というのは胸を張れる結果。世界の壁を感じる一方で、世界で戦っていく道筋も見えた。そういう大会でした」と五輪を振

り返ってくれました。

コロナ禍で異例の無観客開催。会場の声援はありませんでしたが、試合後ロッカーに戻ると「返信する気力がなくなるくらい」という膨大なLINEが。時差のない自国開催ならではの応援は、しっかりと届いていたようです。

試合日程の関係で開会式には出られませんでした。閉会式に参加。聖火の消灯を目の当たりにします。五輪の火が静かに消えていく姿に自らを重ね、「感慨深いものがありました。この2週間、戦ってきたんだなあという思いが頭をよぎりました」。

今の目標は「皇后杯」10連覇

五輪出場は本来、在学時に想定していたこと。リオ大会の年は4回生。そこで、1・2回生時に多くの単位を取得して五輪に備えていました。当時の練習は週に5～6日。

学業と並行して所属する「カクテル」とともに「伊丹スーパーフェニックス」の男子チームでもハードな練習を積んでいた中、単位を落とすことは1度もありませんでした。「要領が良かっただけ。大きな声では言えませんが、あまり勉強熱心ではありませんでした」と小さな声で語る北間さん。それでも、卒業研究では期限直前になって教員から大幅な構成変更を指示されるという困難を乗り越え、力作の卒論を書き上げました。

次のパリ大会については「まだ結論を出す時期ではないので、ゆっくり考えます」としながらも、「カクテル」は現在、女子クラブチーム日本一を決める「皇后杯」6連覇中。「目標の10連覇に向かっていきます」。

東京五輪の火は消えましたが、北間選手の火はまだ燃え盛ったまま。校友会はこれからも北間さんを応援します。



中2から所属している「カクテル」ではフォワードとしてプレーしています。



6連覇中の「皇后杯」。目標は10連覇！チーム一丸となって頑張っています！



内海先生は厳しく、そして優しく。ゼミは追大での一番の思い出です。



大学時代に出会った友達とは今でも仲良く遊んでいます！

追大同級生との
つながりは、
ずっと貴重な財産。

Kayama Kazuhiro



香山 一弘 さん（10期生 文英）

1956年大阪生まれ。1979年文学部 英米語文学科卒業。香林株式会社 代表取締役。同社は大阪府より経営革新承認企業の認可を受けている。2017年ecoeat（エコイト／本文参照）の母体となる「特定非営利活動（NPO）法人日本もったいない食品センター」の立ち上げに参与、理事に就任する（「ecoeat城東店」開業時に理事を退任）。親子2代の追大卒で、ご子息は中・高・大と追手門学院の出身。

大学時代は少林寺拳法部で活動。そのつながりは卒業後も続き、香山さんは同部でコーチを務めていたこともあります。直近の全国大会（2021年少林寺拳法全日本学生大会）では組演舞で優勝者を出すなど、全国屈指の部に成長。「大会結果は、監督と選手の頑張りです。今の学生は素直。叱ることもありますが、言えばちゃんと理解する。教える人間次第です」。

香山さんは会社経営者。追大卒業後、繊維商社勤務を経て1991年に起業します。「アパレルさんとの付き合いを通じて、生地だけではなく服づくりまでしたいと思うようになり独立しました」と、他社ブランドを企画・製造するOEM事業を手掛けます。その後は雑貨の製造・販売、飲食事業、ノベルティグッズの製造・販売など、市場の変化に柔軟に対応しながら事業を多角化。そして、少林寺拳法の選手・指導

者としての経験が活かしたのが「少林寺拳法公認防具」の開発です。「追大のコーチとして、選手の安全性を高める防具の必要性を感じていたのと同時に、様々な方から当社で開発してほしいという声が届いていました。少林寺拳法連盟本部にも防具の使用を働きかけ、時間はかかりましたが賛同を得られました。今も広く使われていて、選手のケガはかなり減っています」。

店舗を地域貢献の拠点に

2019年11月には新たな事業として、大阪市内に食品ロス削減ショップ「ecoeat城東店」を開業。安全性に問題のない賞味期限切れの商品や消費期限間近の商品を仕入れて格安で販売したり、生活困窮者に寄付をしたりする取り組みで、食品廃棄の削減とともに社会貢献にもなる活動です。「収益よりも地域貢献の要素が大

きい。開店して2年、ようやく地域に根付いてきました。次はより広い店舗を持ち、商品バリエーションを増やして、もっと地域に役立ちたいと思います」。



香山さんが常に大切にするのは人とのつながり。とりわけ「追大同級生とのつながりは貴重な財産」と語ります。コロナ禍で一時的に中断となっていますが、今でも10期生の仲間とは定期的に飲み会を開催しているとか。母校との接点が薄れている人には「ぜひホームカミング・デーに参加して」というのが香山さんからメッセージです。



大阪市営中央線「緑橋駅」から徒歩2分にある「ecoeat城東店」



店内では賞味期限切れの商品などを格安で販売しています。



少林寺拳法部のコーチ時代は後輩学生と頻繁に関わっていました。



10期生の仲間との飲み会はいつも思い出話で大盛り上がり！